

19年度公立学校教員採用選考試験の実施状況

受験者数：+2.4ポイントの165,251人

採用者数：+0.5ポイントの22,647人

競争率：+0.1ポイントの7.3倍

旺文社 教育情報センター 19年12月

文部科学省は（以下、文科省と略）先ごろ、平成19年度に各都道府県・指定都市教育委員会において実施された平成19年度公立学校教員採用選考試験（以下、平成19年度選考と略）の実施状況について、その概要を発表した。

■公立学校教員採用選考試験の実施状況■

《採用者数は22,647人で、18年度より0.5ポイントの増加》

受験者数は165,251人で、18年度比で3,808人（2.4ポイント）の増加。過去10年間の推移は、平成11年度選考で減少したことを除き、10年度選考から増加が続き、18年度選考で再び減少に転じたが、19年度選考で再び増加に転じた。（表1・2参照）

採用者数は22,647人で、18年度比で110人（0.5ポイント）の増加となっている。採用者数の内訳は、小学校が11,588人（18年度比6.8ポイント）の減少、中学校が6,170人（同20.6ポイント）の大幅増加、高等学校が2,563人（同4.2ポイント）の減少、特別支援学校が1,413人（同4.5ポイント）の減少、養護教諭が840人（同0.6ポイント）の増加で、中学校、養護教諭で増加となっている。全体の**増加の要因として、中学校の1,052人の増加が大きい**。（表1参照）

過去10年間の採用者の推移は、平成10年度選考以降減少が続き、13年度選考から増加に転じている。12年度までの減少の要因としては、①5年度から第6次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画が実施されていたものの、これを上回る児童生徒数の減少による教職員定数の自然減が生じていたこと、②退職者数が毎年減少していたことなどが考えられる。

また、13年度選考からの増加の要因としては、①13年度から17年度までの5年計画で第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画が実施される一方、児童生徒数の減少幅の縮小に伴い、教職員定数の自然減が緩和されてきたこと、②14年度以降毎年退職者数が増加していることが考えられる。（表2参照）

採用者数に占める女性の割合（養護教諭・栄養教諭を除く）は58.0%で、18年度と比較すると0.4ポイント減少している。過去10年間の女性の採用者の推移は、平成10年度選考以降の減少傾向が、13年度選考から増加に転じていたが19年度選考でわずか2人減少した。（表2参照）

競争率（全体）は7.3倍で、18年度をわずか0.1ポイント上回っている。過去10年間の推移は、平成10年度選考から年々上昇し、12年度選考で最も高い競争率（13.3倍）となったが、その後、**緩和の傾向**にある。（表2参照）

■平成19年度公立学校教員採用選考試験の実施状況 (単位：人) <表1>

区分	応募者数	受験者数	採用者数		競争率 (倍率)
			女性(内数)	女性(内数)	
小学校	59,193 (57,312)	53,398 (51,763)	32,211 (32,113)	11,588 (12,430)	4.6 (4.2)
中学校	69,251 (68,139)	60,527 (59,879)	29,215 (30,179)	6,170 (5,118)	9.8 (11.7)
高等学校	41,395 (40,368)	36,445 (35,593)	13,863 (13,677)	2,563 (2,674)	14.2 (13.3)
特別支援 学校	6,839 (6,679)	6,215 (6,012)	4,036 (4,011)	1,413 (1,480)	4.4 (4.1)
養護教諭	9,409 (9,210)	8,362 (8,196)	7,964 (7,913)	840 (835)	10.0 (9.8)
栄養教諭	315 (—)	304 (—)	299 (—)	73 (—)	4.2 (—)
計	186,402 (181,708)	165,251 (161,443)	87,588 (87,893)	22,647 (22,537)	7.3 (7.2)

※ 下段 () 内の数値は、平成18年度のもの。栄養教諭は平成19年度から調査対象。

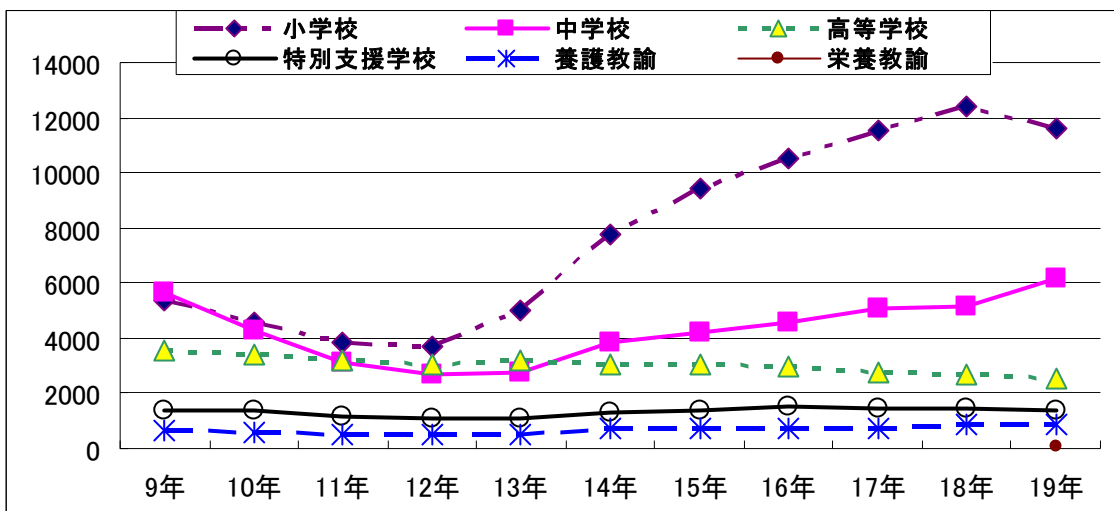
■公立学校教員採用者数の推移 (全体)

<表2>

卒業年	平成10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
受験者数(人)	147,542	145,067	147,098	147,425	150,977	155,624	160,357	164,393	161,443	165,251
採用者数(人)	14,178	11,787	11,021	12,606	16,688	18,801	20,314	21,606	22,537	22,647
女性(内数)	7,585	6,261	5,973	6,822	9,312	10,646	11,758	12,809	13,509	13,507
競争率(倍)	10.4	12.3	13.3	11.7	9.0	8.3	7.9	7.6	7.2	7.3

■公立学校教員の採用者数の推移グラフ (区分別)

<図1>



《採用者の過半数は、一般大学出身者》

受験者の学歴(出身大学等)別内訳は、一般大学出身者が97,720人(構成比63.8%)、教員養成大学・学部出身者が31,878人(同20.8%)、大学院出身者が13,720人(同9.0%)、短期大学出身者が9,849人(同6.4%)となっている。

これに対し、採用者の学歴別内訳は、一般大学出身者が11,035人(構成比53.3%)、教員養成大学・学部出身者が7,024人(同34.5%)、大学院出身者が1,945人(同9.4%)、短期大学出身者が700人(同3.4%)となっている。

次に、学歴別の採用率（採用者数を受験者数で除したものを百分率で表したもので、受験者の何%が採用されたかを示す）をみると、教員養成大学・学部出身者が22.0%、大学院出身者が14.2%、一般大学出身者が11.3%、短期大学出身者が7.1%となっており、教員養成大学・学部出身者が他の出身者に比べて高い率で採用されている。（図2参照）

■公立学校教員採用者の学歴別受験者、採用者、採用率

<図2>

